



浮世絵でたどる 房総の旅

2014年

6月10日(火) - 7月5日(土)

開館時間 午前10時〜午後4時

休館日 日曜・月曜日

入館料 一般300円、高校生以下無料

チラシ制作 メディア学部メディア情報学科4年 櫻井貴一

■図版(上より) 歌川広重『山海見立相模安房清住山』横大判錦絵、安政5年(1858)、当館蔵
二代歌川国貞『成田山参詣小金ヶ原之図』部分、大判錦絵三枚続、安政2年(1855)、当館蔵



城西国際大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地・図書館棟1階
お問合せ=0475-53-2562
<http://www.jiu.ac.jp/museum/>



浮世絵でたどる 房総の旅

かつての旅は、伊勢参りに代表されるように、寺社参詣を目的としつつ、道中の名所や旧跡を存分に見てまわるといったものでした。江戸後期、庶民の間で旅が流行すると、遠方まで行けない人々にとって、江戸から近く、成田山新勝寺をはじめ有名な寺社や名勝に恵まれた房総は、格好の観光地となります。舟で入っていく川と海に囲まれた地形も、日常を離れる旅の気分を盛り上げました。

成田山へは、船橋、大和田、臼井、佐倉、酒々井を通る成田街道がよく使われ、途中、野馬や遠くに筑波山が見える小金牧や、風光明媚な印旛沼などの名所もありました。さらに、利根川の水運を利用した香取、鹿島、息栖の東国三社参詣や、銚子の奇勝を楽しむ磯巡りも人気の周遊コースでした。そして、南総には古来信仰を集めてきた鹿野山神野寺、鋸山の日本寺、日蓮ゆかりの清澄寺や誕生寺といった霊場や、江戸湾越しに富士山を望む保田海岸、鏡ヶ浦などの景勝地が点在しています。実際に房総を旅した歌川広重は、さまざまな名所を浮世絵にとどめており、人々の旅への憧れを刺激したことでしょう。

このたびの展覧会では、「成田山への旅」「東国三社参詣と磯巡りの旅」「南総の旅」に分け、旅のガイドとなった絵図や名所図会、現地での見聞を記した紀行文を参考に、風景版画によってその旅路をたどります。電車や自動車のない時代の房総へ、物見遊山の旅にお出かけください。

■講演会

6月20日 [金] 午後1時20分～2時50分
「近世房総の旅」 山本光正氏 (元国立歴史民俗博物館教授)
図書館3階プレゼンテーションホールにて *聴講無料/要予約

■ギャラリートーク

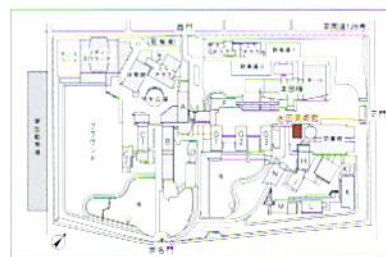
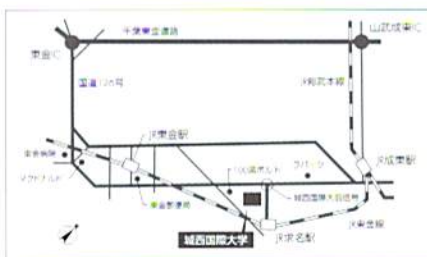
(当館学芸員による展示解説)
6月14日 [土]、7月5日 [土]
午後1時30分～

図版①歌川国輝《從上総下総海邊富士遠望・船橋大神宮ヨリ真間國府台眺望》大判錦絵6枚続、明治1年(1868)、成田山堂光館蔵/②二代歌川広重《諸国名所百景 房州鋸山日本寺》大判錦絵、安政6年(1859)、当館蔵/③歌川芳藤《諸人成田山参詣之図》大判錦絵2枚続、明治1年(1868)、成田山堂光館蔵/④藤堂凌雲《銚子真影巻》部分、絹本着色、1巻、弘化1年(1844)、船橋市西区図書館蔵

【交通案内】

- JR外房線大網駅またはJR総武本線成東駅乗り換えでJR東金線求名(くみょう)駅下車、徒歩5分
- 車では、京葉道路・館山自動車道の千葉東ジャンクションより千葉東金道路に入り、東金インター下車、国道126号線を成東方面へ約20分、信号「城西国際大前」右折
- 次の各駅よりシャトルバス運行

駅名	乗場
JR東京駅	八重洲中央口東京建物ビル前バス停
	9:00
JR蘇我駅	東口バスロータリー内バス停
	10:10 10:20 12:10 13:55
JR大網駅	改札口前バス停
	10:15 10:50 11:55 12:40 13:15 14:10 15:05
JR成東駅	改札口前
	11:35 14:35
京成成田駅	東口バスロータリー森田ビル向い側
	10:45 13:45



城西国際大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地・図書館棟1階
【開館時間】午前10時～午後4時【休館日】日曜・月曜・祝日
【お問合せ】0475-53-2562 <http://www.jiu.ac.jp/museum/>

